

講演や問題提起も

女性協第49回定期大会

11月13日(日)に女性協

議会第四九回定期大会(Zoom開催)が、各地連・単組から一八名の参加で開催

催されました。

まず「障がい児及び医療ケア児を育てる親の会」の工藤さほさんから、六年前

の発足時には朝日新聞社内で八人だった集まりが、今では報道機関

男性育休についても話題に

を中心に様々な職場で働く七〇人もの父母が集う会になったこと、年齢に関係なくケアが必要な子の暮らしを守るために、親が安心して働き続けられる職場環境が必須なことについてお話頂きました。

メインゲストには、NHKでジェンダー・男女共同参画担当の解

説委員の山本恵子さんを講師に迎え「メディアで働く私たち」横のつながりが力に」と題して、様々なピンチをチャンスに変えて転進・前進してこられた平生や、山本さんが会社の垣根を超えて組織されている女性を中心とした集まり「薔薇棘」の活動についてお話頂きました。「薔薇棘」では、定期的に学習会や情報

交換を行っていて、且つ日々の仕事や育児の悩みも相談できる仲間を持つことで、精神的にも物理的にも大きな力となっていること、横のつながりの威力や重要性を具体的に語って頂きました。民放労連女性協も学習や互助精神を怠ってはいけないと再認識。

その他、各地連や単組からの報告では、よみうりテレビサービスの不当解雇問題への支援継続要請、法改正による今後の男性育休取得への期待、若い社員が放送局を辞めていく「放送局離れ」の現状について等の報告がありました。男女共に働き易く、働き甲斐のある会社であることが、放送局の魅力UPにも繋がっています。